第１３回議会報告会　子育て世代の保護者の方との意見交換会

№.	意見
1	子供 9 人もいて、市保育所から 27 年間お世話になっている。皆さんびっくりすると思うんが、子育て等でいろんなことをやってるじゃないか等いろいろ言われるんが、特に子供に対しては、もう全くこれといったこともしてなく、もう自由奔放に育てている。 市こども園のことで、設計の段階で何か不便なとこしっかりと現場で聞いてなくできあがってしまったこと、こども園の先生も困ってらっしゃるということをよく聞く。 それで現状として不便なところ等を補修したりいろいろしているが、やっぱり予算がないので、部分部分の補修となる。 現場の意見聞かずに、先に設計やってしまって、それで作ってしまったもんだから、後でお金かかるか、先にお金かけてしっかりしたもの作るかっていうだけの違いであるが、あとから補修をいろいろするのはどうかと思う。今、神代保育所も改修しているし、公共的な建物等の設計段階でしっかりと現場の先生の意見をしっかり聞いて、それで作っていく方が、やっぱり税金で作っているので無駄なお金はかけないようにするべきではないか。 市こども園において現状の問題として、雨が降った時、園庭に雨がたまって水たまりになって、送迎のときにその園庭を通るので保護者がぐちゃぐちゃになりながら、園児を連れて帰るようなことがおきている。市としては園庭をとおらずに施設の端の方をとおるようにスノコを敷いているが、一人分くらいの幅しかないので、人が前から来た場合、水たまりがある園庭に降りてすれ違わないといけいない状態である。この件で改修の要望をあげても予算がないと言われる。
2	普段の実感として津井幼稚園では、人数も少ないこともあって課外授業等を積極的にやってもらって、広く使えている。しかし、子供の数が少なすぎて来年は今のところ、誰も園児がいなくなるのを気にしている。再来年以降で園児が入る予定もあるようだが、休園となると地域の方からは寂しいという声を聞く。現状子供が少ないのが悩みの種である。 南あわじ市は産婦人科、子供を出産するところがない。何かあったとしたら洲本にある産婦人科まで行くのに 30 分、40 分はかかる。地元に産婦人科があれば安心である。南あわじ市で生まれて、住みやすかったら、移住の人も増えるのではないか。実現は難しいと思うが、あれば安心と思える。
3	今年の 10 月から、ママ友と一緒にまちの子育て広場を立ち上げた。 子育て支援ハンドブックにまちの子育て広場一覧が記載されているが、だいたいが幼稚園やこども園でやっていて、まちの子育て広場自体が開かれておらず遊び場がなくなってしまっている。

	誰とも出会えず、孤独だなっていう子育てをしていくのが私がつらくて、できることがないかなと思って自分で立ち上げた。 まちの子育て広場は大人が 5 人いれば誰でも県に申請できるものなんであるが、今、移動型、まちの子育て広場として、淡路市、洲本市、南あわじ市のどこでも、またオンラインでも学べるお母さんの学び場と子供の遊び場を作って、その活動を知っていただいた議員がおりそのご縁で今日きている。11 月 4 日に市長を交えて懇親会を開いた。 その時に、南あわじ市の子育て環境に関するアンケートをした。「南あわじ市は子育てしやすいと思うか」というアンケートをとったところ、しやすいと答えたのが 17%、どちらかといえばしやすいと答えたのが 74%である。 どちらかといえばしにくいと答えたのが 9%で、しにくいと答えた方が 0%という結果になり、アンケート結果については市長にも直接渡して、その場にいた 14 名のママたちと市長と、そのとき太田議員も来ていただいたが、アフタースクールやコアカリキュラムとは何、ゆめるんカードの使い道がなさすぎるっていうお話をしたりとか、私もイングランドの丘に保育所の年少になったらパスカードを渡されるが、それを持ってなかったら、市民なのにお金を払って入園した。 ゆめるんカードを持っていたのにパスカードを忘れたっていうだけで、何かそのあたりでいい塩梅がないのかなと思って、そのような話をしたり、改善できるところもあるし、またしっかりとママたちが疑問に思ってる部分は市長も聞いていただけたので、声を上げるっていうことを大切にしたいなと思うし、また横の繋がりはこれからも強化していきたいなという気持ちでいる。 私の本職がスクールソーシャルワーカーをしており、あと今はコーチングを皆様にお伝えしているんが、小学校・中学校・幼稚園の年長さんから、高校生もそうであるが、授業でコーチングを取り入れた授業っていうのを、これから学校にお届けできたらいいなっていうのをご提案していこうかなと思っている。 そういったコーチングを取り入れるコミュニケーション能力、あと自己肯定感を高めるっていうところをもっと強化できたら、魅力のある市になってここで子育てをさせたいんだと思えて、島外からもやってきてくださる方がいるんじゃないかなというふうに期待している。 学校によって一クラスの人数がかなり差がある。そういう現状なので、少人数制のクラス体制をとっていただけないかと思う。親の仕事の都合の理由以外でも、子供にしっかりと関わってもらいたいという理由で校区外も選べる登校を認めてもらえないかと思う。 あと、市民交流センターで本の読み聞かせ会があればうれしいと思う。学ぶ楽しさ日本一と言っているが図書館の利用がどのくらいのレベルなのか、図書館

	の利用数や本をどれくらいの子供たちが読んでいるのかという観点から図書館にいく回数をアップさせるために、読み聞かせをする回数を増やしたらどうかと思う。例えば、淡路市に読書通帳というものがある。どれくらい読めたかを示すような工夫があってもいいのかなと思う。 また、産婦人科がないという話と関連して、専門的な医療を受けるのに島外に出ないといけないのはすごく負担に感じる。 出産して育児休暇があけたとき、夫婦共働きであると、医療費が１歳までしか無料にならない。そのことがあるので、育児休暇を先延ばしにしている家族も結構いるように聞く。そういう点で女性が働きやすい職場づくり、社会に出たいお母さんをサポートしてもらいながら、働ければいいなと思う。
4	資料をみなさんに渡しているが、先日、メディアで子供たちのいじめ、登校拒否、学校に行きたくないというようなことがテレビで放送されて、この状況は急激な右肩上がりの増加になっているという報道があって、そこに僕たちが敏感に察知して、ネットから引っ張り出してきたが、議員の皆様に読んでいただけたらと思う。 この２年３年のコロナ禍の間で子供たちの自粛規制が言われていてテレビでも言われていた黙食についてはどうかと思っており、廃止していただければと思っている。他地域では、その動きがあるので、南あわじ市でもその声をあげていってほしいと思っている。 事故等で死亡率がさがっているが、９歳以下の子供の死亡の原因の一位は小児がんである。高齢者の死亡の原因もがんが一番である。このようなデータがあるのにコロナが危険であるとマスコミ等は不安を煽っている。 私は子どもたちのワクチンは懸念があると前から声をあげている。安全性が見受けられない、最新のワクチンは人体での実験がほぼゼロで動物での実験だけでそういうものを私たちの子供たちに対して、接種するしないは個人の自由であると思う。専門の人たちを呼んで市民の皆様に情報を伝えるのが大事と思う。 また、子供の給食のことで、給食費を無償化にという声を聞くが、幼稚園では１日給食の負担が 155 円という金額になっている。小学校は 1 日 258 円、中学校は 290 円。個人的に思う事は、この金額では負担の額が少ないかなと思う。例えば、中学校の 290 円を 500 円にしたらどうかと思う。僕たちが持っているポケットマネーを 210 円出してあげれば、もっといいものを子供たちに提供してあげられると思う。例えばオーガニック給食について、今、南あわじ市でも県外からいろいろな人がきてオーガニック無農薬をしている。小さな子供たちは免疫力をあげる生活リズム、食生活が一番大事である。 あと、日本人は米を食べるようにすればよい。やはり免疫力をあげる食生活で

	す。淡路島のいいものを発信してほしい。発信することで淡路島を分かってもらえる。これこそが活性化になる。 免疫をあげることを勉強しているとマスクをすることは子供たちには無意味であると思っている。コロナが感染拡大していると言われるが、そのようなことに怯まずにもっと思考をあげる大人たちが増えないとダメだと思う。
5	同じ保護者の方から聞いた声で中学校に上がるとき２０万円は必要と言われる。２０万円の内訳は自転車や制服等で用意しておかないといけないと聞く。例えば、シングルマザーの人で仕事を掛け持ちしている方は生活が大変だと思う。そういう人たちの子供が中学校に上がるとき何か支援がないのかなと思った。 また、私の所に保育園に通う子供が２人いる。子供が雨が降ったときに遊びに行くところがあまりなく、雨が降ったら休日は家の中で過ごすという選択しかない。雨のときで室内で遊べる遊び場がもう少し充実すればうれしいと思う。
6	うちの子は年齢層が広くて上の子は成人しているが、２番目が専門学校、３番目が高校、一番下が小学校である。中学校までの通学路に街灯がちょっと少ないと感じる。これを増やしてもらえないかという話は中学校からもでているが、街灯が増えると農家の方から害虫が飛んでくるから、そんなに増設できないという意見がでていると聞いたが、先日もオニオンロードで事故があり、そこはライトが少ないところであった。そこで農協や普及所が調査して、LED のライトなら害虫がそこまで飛んでこないということを聞いたので、通学路でのライトの設置を増やしていただけないかと思う。 また、中高連携の一つとして、うちに高校生の息子がいるのだが、中学校から高校にあがるときに、連携シートというのを作っていただいて、高校にそちらを持って入学した。どうしても淡路三原高等学校に通いたい理由があったので連携シートを活用して、淡路三原高等学校に進学させてもらった。 入学したときにクラス担任や保健室の先生に気をつけてほしいことをお願いしたが、学年が上がるときに担任が変わって連携が行き届かなくなった。このような連携シートを活用するケースは１年生から３年生まで担任の先生をずっと同じ先生でしてもらえたらといいと思う。それでないと初めての先生だと心が開けなくてコミュニケーションがとりにくくなり、それで家に引きこもってしまったときがある。これは高校にお願いということだが、そういう面も考慮してほしい。
7	今子供たちはマスクをして、ずっと学校生活を送っている。そこでマスクの危険性というものを皆様にどれだけ御存じかという思いがある。マスクをずっとしていることによって、子供の将来、成長にどれだけ影響を与えられるか、そういうのを理解というか勉強してもらって、そういうのを知らない保護者たち

	にも伝えてもらって、そこでマスクを着けるか、着けないかという選択肢の自由化というものをお願いしたい。 私は周りの人のためにもマスクをしないといけないというのもあるが、子供の将来を考えると私はマスクをあまりしてほしくない。そういう意見をなかなか言えないので、学校や教育委員会からの意見としてマスクを着ける着けないの自由化というものをお願いしたいと思う。
8	子供たちのマスクはいつまでするのか、マスクで感染を防げるとは言われていない。子供たちにマスクをして子供たちの本当の顔が分からない。先生の顔も分からない状況で、いつまでこの状況が続くのかと思っている。子供たちに自由にマスクを着けるか着かないか、そういうのを伝えてほしいと思う。
9	子ども手当の増額を希望している。医療費は中学校３年生まで無償化になっているので、うちの子が高校生に来年なるので、高校生も無償化の対象にしてほしい。 また、沼島中学校の柔道部について、なぜ島外の人を呼んで、沼島で柔道をするのか疑問に思う。それであるならば、南あわじ市で集めて強い選手を育てていけば、もっといいものができ、市としても応援ができるのではないかと思う。 あと、私が野球をしているので、市内に大きな球場を作ってほしいと希望している。
10	学ぶ楽しさ日本一についてでこの度、お話しすると聞いた。こちらは私が３年前に関わりまして、作成した側にいた。中学校のタブレット配付で貸付ということになるが、高校になってそのタブレットが買取になって、辞書もタブレットに入れて使っている。その辞書の購入でかなりの金額が必要であった。高校になってタブレットの貸付がなくなるので、タブレットを買うためのある程度の補助をしてほしい。それがあると必要な辞書などを買うだけになるので家計の負担が少なくなる。 あと、通学時に自転車に乗りながら、２列走行でタブレットを見ている子供や、通学途中でイヤホンで音楽を聴きながら帰る子供を見かけるときがある。危険なので、交通のマナーを指導してもらいたい。
11	手をつなぐ育成会は元は知的障害の親の会であるが、知的障害に限らず、今は市外の方や他の障害の方でも入っていただいていたりする。 子育てとは少し違うが、気になっているのは、知的障害をもつ保護者が高齢化してきている。その保護者の方が会の活動に出てこれなくなってしまって、会のメンバーには入っているが、少しつながれなくなってきているのが心配である。そのような保護者の方からグループホームを希望する声が上がってきており、うちはウインズに通っているが、ウインズは私たちの先輩のお母さまが立

	ち上げた福祉施設であるが、グループホームを今度私たちが立ち上げることができるだろうかと考えながら、この会を運営している。立ち上げの初期段階でどういうふうに進めていったらいいかも分からず、このあたりのサポートをしていただきたい。 また、特別支援学校からウインズなどの作業所に卒業生が入ってきているが、定員がいっぱいになってきて月曜日から金曜日まで通所するのが難しくなってきている。定員を増やすため施設を大きくするか通う人を分散させるのか、いろいろと手がかかるので、その手助けをしてほしい。 就労に関しても、一般企業で大分引き受けてくれるようになったと聞いているが、やはりまだ不安な要素がある。淡路島には就労継続支援事業所(A 型)がないというのを聞いていて、新たにできたり、そういう会社を呼び寄せていただけたりすればいいと思っている。 防災に関して、いつも親同士で話をしていて、障害をもつ子がいる家族は災害があって、被災したときに避難所には行けないと皆そのように言う。被災したときは避難所の外で車の中で暮らすか、もう壊れていたとしても自分の家で暮らすかということになるのではと話している。もし叶うのであれば、市内のホテルを優先的に使わせていただけるような措置をとっていただけたら心強いといつも思っている。 また、地域の皆様にお願いしたいことで、障害をもつ人たちの不思議な行動を気持ち悪いとか怖いとかだけ思わないでほしいなといつも思う。障害をもつ彼ら彼女らは実際私たちでは想像ができないような感覚がある。いろいろな行動には必ず原因があって、理解できないと諦めてしまうのではなくて、理解しようと思う事が大切かなと思っている。いつかは私たち地域の人たちと普通にあいさつができたらいいなといつも思っている。それを是非お願いできたらと思っている。
12	なぜ、学校でタブレットをしているのか、あんまりいいところが見えてこない。最初オンライン授業をしていくということでタブレットの導入がされたが、それを全然していない。オンライン授業をしていないのだったら、タブレットがないほうがいいのかなと思う。タブレットとパソコンはまた違うわけであるし、子供たちは順応が早いからタブレットではなく、パソコンを使ったほうがいいと思う。